

防災避難訓練

5月28日（火）に五泉市消防署の方のご協力の下、県立五泉特別支援学校村松分校と合同で防災避難訓練を実施しました。

13時10分に非常ベルが鳴り、「ただ今、調理実習室から出火しました。生徒は直ちに第1体育館に避難しなさい。」という避難開始の放送後、両校の生徒・職員が避難を開始し、第1体育館に移動、クラス毎に点呼、報告を行い、5分10秒で避難が完了しました。

消防署の職員の方からのご講評では、「静かに指示に従い避難できて非常に良かった。避難訓練は学校や事業所等で毎年行うことになっているが、一回一回忘れてしまっただけでは意味がないので、今回できたことを来年はもっとよくできるようにしてほしい。また、自分だけが避難できれば良いわけではなく、皆で協力しあって怪我なく避難することが大事である。火災だけでなく、これから豪雨の時期となるが、水害等、何が起こるかわからないので、災害時に、どのように行動すればよいか考えてほしい。」とお話がありました。

続いて、傳田校長からは、「災害は、いつ起こるかわからないので、そのことを常に意識してほしい。避難にかかる時間は、指示があつてから可能な限り短い方がよいが、怪我や大事故がおこらないよう、指示をよく聞き、慌てず、落ち着いて、素早く避難することが大事である。普段から、自分の命を守るための防災意識を高めてほしい。」とお話がありました。

自分や大切な人の命を守るため、普段から防災意識を高めたいと思います。

